

JR大船渡線

BRT3月2日に運行開始

震災で一部区間の運休が続く、BRT=バス高速輸送システムでの仮復旧が決まっているJR大船渡線が、



3月2日に運行が開始されることが正式に決まりました。JR大船渡線は去年10月に自治体との合意で盛～気仙沼間のBRTでの仮復旧の方針が決まり、現在、大船渡駅と盛駅の間で専用道路の整備が進められています。3月2日の運行開始以降全部で6つのルートで運行され、自治体の要望に応える形で新たに長部駅と高田病院駅が整備されます。バス1台の定員は76人と、1両当たり89人だった、列車からは減りますが、運行本数は、震災前と比べて大幅に増えます。JR東日本盛岡支社の福田泰司支社長はきょうの会見で、「より利便性を感じていただけるよう努力する」「利用者の意見要望があれば伺っていききたい」と話しました。(1/31 ニュースエコーより)

釜石発

星の王子さま朗読ライブ

朗読とピアノの調べで被災地を元気付けようという朗読会が釜石市で開かれました。この朗読会



は女優の南ななさんや映画監督の井坂聡さんなど、震災以降、被災地への支援を続けている芸能関係者の集まりが行なったもので、活動に賛同した俳優の辰巳琢郎さんも参加しました。朗読の演目はサン＝テグジュペリの名作、「星の王子さま」。大切な人との出会いと別れ、そして、その人と培ったつながりの大切さを描いた物語を王子様役の南さんと王子様と出会い心を通わせる飛行士役の辰巳さんが情感溢れる朗読で演じました。会場には150人が集まり、ピアノの調べに乗せて語られる物語に酔いしれ、朗読を終えた二人には大きな拍手が送られていました。(2/2 岩手日報 IBCニュースより)

大槌発

曳航船 養殖施設に乗り上げカキに被害

大槌町では、湾内に停泊していた曳航船が強風で流され養殖施設に乗り上げ出荷を控えていたカキが大きな被害を受けました。



養殖施設に乗り上げたのは岸壁の復旧作業にあっていた名古屋市の海運会社が所有する74トンの曳航船です。2日夜から大槌川の河口付近に錨を下ろして停泊していましたが、3日午前3時過ぎ、西からの強風を受けおよそ500m流されカキの養殖施設「二台分」に乗り上げたものです。この事故で少なくともカキ3万個が出荷できない状況となり施設への被害を含め被害額は400万円を超えると見られています。被害を受けた漁師と漁協は今後、船を所有する海運会社との間で費用の賠償について話を進める事としています。(2/4 ニュースエコーより)

大船渡

タイ陸軍病院関係者が被災地医療を学ぶ

災害時の医療のノウハウを学ぼうと、タイの病院関係者が県立大船渡病院を視察しました。大船渡病院を訪れた



のはタイ陸軍の病院関係者ら29人です。タイではおとし大洪水があり、大きな被害が出ました。バンコクにある陸軍病院は建て替えにあたり、災害拠点病院としての機能を充実させる予定です。視察団は、大船渡病院の山野目辰味医師から「患者をけがや症状の程度別にグループ分けして治療にあたった」など当時の状況について説明を受けました。タイ陸軍では災害発生時に適切な医療が施せるよう、今回の視察を新しい病院の設計に反映させるとしています。(2/5 ニュースエコーより)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122